

# 浜松湖東高校部活動ガイドライン

## 1. 基本事項

### (1) 部活動の目的

「誠実」「勤勉」「礼節」の校訓のもと、「豊かな感性」「確かな知性」「高い志」「健やかな心身」を備え、調和の取れた人格の形成と地域に貢献できる人材を育成する。

### (2) 活動の指針

部活動は自らの適性や興味・関心等を、仲間と共により深く追求していく場であり、顧問や指導者の指導のもと保護者と協力し生徒の主体的な取り組みとなることを目指す。

- ・責任感や連帯感の涵養、互いに協力し合って好ましい人間関係を築くために、生徒同士の積極的な関りを増やす。
- ・成就感や達成感を持たせるため、大会への参加、発表会の実施を積極的に行う。
- ・年 1 回以上の奉仕活動を実施する。
- ・学習への取り組みや行事などの諸活動、地域活動への参加等にも配慮する。

## 2. 活動と計画

### (1) 計画

各部活動において、年間計画、月別計画を策定し、活動目的・内容とともに部員・保護者に提示する。

### (2) 活動時間・休養日

生徒の心身の健全な発育に配慮し、各部活動における大会等の状況を鑑み、部活動ごと練習の内容、週当たりの時間などを工夫する。

- ・平日の活動時間は 19 時まで(3 時間程度以内)とする。終了後は速やかに下校する。
- ・週に 1 回以上の休養日を設ける。
- ・授業のない日の休養日が平均して月 2 回程度以上となるよう、年間を通じて弾力的に休養日を設定する。(大会等の日程や施設・設備等の関係から、週休日を休養日にするを一律に設定することは現在のところ困難である。)

### (3) 指導

- ・学校全体で適正に指導ができるよう、顧問の配置等に留意し、部活動顧問会議において、体罰の根絶、事故防止、適正な活動計画等必要な検討・確認を行う。
- ・外部指導者については必要に応じて弾力的に依頼・活用する。その際は顧問と外部指導者の連携を密にして活動の質の向上に努める